

平成26年度事業計画

丹後あじわいの郷は、地域の豊かな自然環境に恵まれ、丹後地域に広がる国営開発農地、ロマン溢れる歴史と景観を背景に、地域農業の振興、都市と農村の交流を進めるとともに、地域の活性化に繋がる事業展開に努めます。

事業の実施にあたっては、農林・商工・観光等の団体や行政機関との連携に努めながら、みやこづくり構想「丹後・食の王国」プロジェクトの拠点として、地域の資源をいかした食の魅力を発信するとともに、来園される方々や地域の方々に親しまれる公園づくりをめざします。

丹後あじわいの郷協会の活動や地域団体のイベント利用等の取組により、近年入園者は10万人超で推移しているが、平成26年度の高速度道路網開通などによる人・ものの流れの飛躍的な増大を追い風に、公園の魅力アップや交流促進に努め、入園者の増加をめざします。

また、「丹後・食の王国」や「海の京都」構想の拠点施設として、行政、協会や地域の農業法人・企業等と一層の連携を図り、地域の振興につながる公園の活用を進めていきます。

重点とする取組事項は、

- 1 「丹後・食の王国」や「海の京都」構想と連動した「丹後の食」の提供及び情報発信
- 2 協会、地元市町や学校、関係団体等と連携した月例祭の充実、地域イベントの誘致促進、幅広い世代に利活用される公園づくり
- 3 地域や農業者と連携した新たな農林漁業体験や公園の資源を活用した植物観察、環境学習等の企画実施

平成26年度入園者目標 12万人

〈実施事業〉

1 公園の管理運営

- (1) 京都府及び京丹後市から借り受けた「丹後あじわいの郷」用地及び施設の管理
- (2) 手作り食品工房の運営
- (3) 日常業務の管理運営（委託）
 - 入園料の徴収及び管理
 - 公園施設の維持管理（清掃、施設の保守・補修、牧舎の動物管理他）
 - 公園内及び公園に隣接する園地などの維持管理
 - 来園者の誘導、案内、安全対策等
 - PR事業、イベントの実施等の誘客業務
 - 道の駅の管理
- (4) 体験宿泊施設の営業並びに維持管理（委託）
 - 宿泊プランの充実や日帰り入浴の試行

2 魅力ある公園づくりの企画と整備（委託等）

- (1) 四季折々の花の咲くあじわいの郷づくりと管理
- (2) 公園内の森林の環境づくりと散策道の維持管理
- (3) 地域の豊富な食の資源を生かした新しい商品開発・提供
- (4) 排水、除雪対策、木製遊具の点検整備

3 自然環境学習、農林漁業体験の企画と実施（委託等）

- (1) イチゴ、ブルーベリー、さつまいもの収穫体験
- (2) 赤米づくり、炭焼き体験等教育機関と連携したプログラムの充実
- (3) 農業者等と連携した栽培・加工品づくり体験

4 ワインオーナー制度の実施

5 広域連携事業の実施

- 「海の京都」事業（海フェス京都と連携した園内イベント）
- 道の駅間の交流連携
- 丹後あじわいの郷協力会との共催
（月例祭の開催、会員交流の日の充実）

6 京都「丹後・食の王国構想」の推進

- 丹後の「食」を支える地元の高校や大学等と連携した「学生レストラン」の開催
- 商談会への出展や各種イベントにおける「丹後の食」のPR
- 食育関係団体等と連携したイベント等の開催
- 「京都ええもん市『食の王国』春のうまいもん祭」等の開催
- 「丹後農業実践型学舎」など、人材育成の場としての活用

7 地元産物の販売促進と活用

- 園内施設への地元農産物供給と地元産物の販売促進
- 園内施設での地元産メニューや地域食材をいかした加工食品や特産物の販売・情報発信
- 愛菜館の有効活用による地元農産物の販売促進

8 広報宣伝（委託）

- (1) 誘客のための広報宣伝活動の強化
 - あじわいレターによる広報、ホームページの充実
- (2) 京都府、地元市町広報誌等による情報発信
 - 府民だより、地域ミニコミ誌等
- (3) 報道機関等への積極的な情報提供と協力
 - 地元FMたんご局、TV、雑誌等
- (4) 道の駅の情報ツールによる広報